



令和3年11月26日

九州地方整備局

災害査定のデジタル化の推進 ～DXを用いた新しい災害査定を試行します～ (鹿児島県さつま町における試行)

- 九州地方整備局では、DXを用いた防災力の向上や社会の働き方を変えるDXに取り組んでいます。
- 地方自治体が維持管理する施設が被災した場合、復旧事業費の一部を国が負担するためには「災害査定」を行う必要があります。しかし近年の災害の激甚化、少子高齢化により、査定の資料作成や受験は地方自治体にとって大きな負担となっています。
- そこで九州地方整備局では、省力かつ簡単で安全に災害査定を行うことを目的とした、DXを用いた「災害査定のデジタル化」を推進してきました。
- 九州財務局・福岡財務局、九州農政局と連携し、鹿児島県（さつま町所管事業）、熊本県（県所管事業）において、災害査定のデジタル化の「試行」を行うこととなりましたので、お知らせします。
- 国土交通省において、VR（360°映像を用いたバーチャルツアー）、クラウドを用いた災害査定の試行は全国初となります。

1. 試行日時 令和3年12月3日（金） 14:00～16:00
*取材は、15:00から16:00といたします。

2. 試行場所 鹿児島県さつま町本庁 別館3階大会議室

3. 添付資料

資料1：鹿児島県さつま町における災害査定のデジタル化試行概要

資料2：「災害査定のデジタル化」概要

【問い合わせ先】

九州地方整備局 企画部 インフラDX推進室

建設専門官 房前和朋（ふさまえ かずとも）（内線 3317）

e-mail：fusamae-k8910@mlit.go.jp

TEL（代表）：092-471-6331 FAX：092-476-3465

九州地方整備局 防災官室、インフラDX推進室

鹿児島県さつま町における災害査定のデジタル化の試行（案）

日時：令和3年12月3日 14:00～16:00

場所：鹿児島県さつま町 本庁別館3階大会議室

1. 災害査定のデジタル化（模擬査定） 14:00～14:45

- ・申請者（さつま町）、査定官（九州地方整備局）と立会官（九州財務局）による模擬査定を実施
- ・模擬査定には、災害用バーチャルツアー（360°映像）、点群クラウド(ScanX)を使用する。（使用する点群データは、iPhoneによる測量、地上レーザー(BLK)、携帯 SLAMにて取得）

2. 意見交換 14:45～15:00

- ・良かった点や改善すべき点、その他感想など

3. 取材対応 15:00～16:00

- ・報道機関への「災害査定のデジタル化」についての説明
- ・模擬査定のデモンストレーション
- ・使用した技術の紹介（クラウド、iPhoneによる測量、地上レーザー(BLK)、携帯 SLAM)
- ・質疑応答